

smile

※ふるさとメール…市と熊日が協力して、毎週木曜日に配信しているメールマガジンです。



**河田真沙美さん**（松橋町松橋）  
**松田裕子さん**（熊本市琴平）

●2月5日に三角港で行われた海上自衛隊ミサイル艇の一般公開の際、広報コーナーで自衛官の制服を試着した2人。  
「ふるさとメールを読んで、ミサイル艇に乗りたくなったので来ました。ミサイル1発で1億円近くかかることを知りビックリしました」

寒空の中 熱く燃える消防魂  
**松橋方面隊が通常点検と放水競技**

2月5日、市消防団松橋方面隊の通常点検および放水競技が、市役所本庁北側広場で開催されました。

式典では、方面隊員463人がラッパ隊の演奏に合わせ、分列行進で堂々と入場。続いて班対抗による通常点検と放水競技を実施しました。

寒風吹きすさぶ中、寒さを感じさせない気迫ある動きで日ごろの訓練の成果を披露。競技の結果、通常点検の部で女性部が、放水競技の部で第3分団第1部第2班（豊福）が優勝しました。



観客から歓声上がる放水競技

さわやかな汗を流しました  
**第4回市グラウンドゴルフ協会会長杯大会**

2月17日、観音山総合運動公園グラウンドで開催され、市内のグラウンドゴルフ会員351人が参加しました。

開会式で阿曾田清市長が「犯罪から子どもたちを守る運動の協力者として、1番に手を挙げていただいた市グラウンドゴルフ協会の方々に深く感謝します」とあいさつ。

晴天の下、各コートではつらつとしたプレーが見られ、参加者の元気な声が上がりました。



ホールインワンを狙って、それっ！

子どもを犯罪から守るために  
**グラウンドゴルフ協会が見守り活動**

子どもを犯罪から守ろうと、このほど、宇城市グラウンドゴルフ協会（岩岡省吾会長・約1,100人）が街頭警戒活動を始めました。

会員たちは居住する小学校区単位で活動（豊野小を除く）。「こどもを見守りましょう」と書かれた黄色いたすきを身に付けて通学路の危険ポイントに立ち、登下校時の子どもたちの安全を見守ります。

市協会では、これまでグラウンドゴルフなどを通じて、さまざまな青少年の健全育成活動を実施。今回、最近多発している子どもを狙った犯罪を防止しようと、この活動に取り組むことになりました。



登下校時の心強い味方です

迫力満点  
**海上自衛隊のミサイル艇が入港**

2月4日から5日にかけて、海上自衛隊のミサイル艇「おおたか826番」（川上修平司令、乗員20人）が三角港に入港しました。

同艇は長崎県佐世保基地所属の小型高速艇（200トン）。機動性、即応性、打撃力に優れ、不審船対処や沿岸防備が主な任務です。

4日は岸壁で入港式があり、地元「龍驤太鼓」の演奏や町内の園児たちが小旗を振って出迎え、阿曾田清市長が歓迎のあいさつを述べました。なかなか見る機会のないミサイル艇を見ようと、市内外から家族連れなどでにぎわいました。



船尾の対艦ミサイルに見入る見学者

桜の名所として全国に知れ渡りますように  
**平原公園で植樹祭**

戦国の武将、竹崎季長公の記念碑がある小川町北海東の「平原公園」で2月12日、桜の木の苗植えがありました。

毎年、春には桜やツツジが咲き乱れる平原公園ですが、最近は老木化や台風の影響で枝が折れるなど、花の数が減っていました。そこで、平野区（緒方信俊区長）の区民たちで新たに12本の桜の苗を植え、公園の活性化に取り組みました。

阿曾田清市長も自ら桜の苗を持参し、「宇城市の市木は『桜』です。今後は道路整備などをし、平原公園を桜の名所として全国に広めたい」と語りました。



「桜の名所に」と願いを込めて植樹する市長

食べ物のことを考えよう  
**農村女性支援グループによる食農交流**

1月28日、松橋町農村女性支援グループ（清原郁子会長・委員11人）が松橋保育園で料理教室を行いました。

同グループが農業体験と料理教室を通して「生産」と「消費」、「食」と「農」の相互理解を深めようと、平成15年度から実施しているものです。同園の年長児とその保護者など約100人が参加しました。

食材は地元農産物と、昨年10月に園児が種をまいて育てたダイコンやホウレンソウなどを使用。だご汁やレンコンチップ、おにぎり、イチゴ大福づくりなどに挑戦し、委員たちの手ほどきを受けながら、親子で調理を楽しみました。



おいしいイチゴ大福になくれ

Jリーガー巻選手を応援しよう！  
**巻選手応援観戦会**

2月11日、小川町のダイヤモンドシティ・パリュエで、宇城市出身のJリーガー、巻誠一郎選手のサポーターズクラブ発会記念イベントを兼ねた応援観戦会がありました。

たくさんの買い物客が集まる中、テレビの実況中継を大型スクリーンで観戦。サポーターたちは、日本代表の強化試合「日本代表対アメリカ代表」に出場した巻選手に声援を送りました。

後半15分、巻選手が代表初のヘディングシュートを決めると「やった！」という大歓声上がり、会場は大いに盛り上がりました。

同クラブでは今後会員を募集し、応援ツアーやサイン会なども企画しているとのこと。



ユニホーム姿で応援するサポーターたち